

病院概要

診療科目 リハビリテーション科・内科・歯科

許可病床数 240床

施設基準

基本診療料：回復期リハビリテーション病棟入院料1
回復期リハビリテーション強化体制加算
療養病棟療養環境加算1
医療安全対策加算2
感染対策向上加算3
排尿自立支援加算
認知症ケア加算2
入退院支援加算 1
患者サポート体制充実加算
栄養サポートチーム加算
診療録管理体制加算2
データ提出加算2・4
電子的診療情報連携体制整備加算3
(医科診療報酬の初・再診)
電子的診療情報連携体制整備加算1
(入院基本料等)
継続的に質上げに係る取組を実施して
いる保険医療機関
入院時食事療養/生活療養(I)

特掲診療料：脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
運動器リハビリテーション料(I)
廃用症候群リハビリテーション料(I)
二次性骨折予防継続管理料2
摂食嚥下機能回復体制加算1
救急患者連携搬送料2
CT撮影及びMRI撮影
外来・在宅ベースアップ評価料(I)の注5
入院ベースアップ評価料

歯科診療：地域歯科診療支援病院歯科初診料
歯科診療特別対応連携加算
歯科外来診療医療安全対策加算2
歯科外来診療感染対策加算3
クラウン・ブリッジ維持管理料
歯科治療時医療管理料
在宅患者歯科治療時医療管理料
CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー
歯科口腔リハビリテーション料2
歯科技工士連携加算2
歯科外来・在宅ベースアップ評価料(I)の注5
電子的歯科診療情報連携体制整備加算2
(歯科診療報酬の初・再診料)
歯科技工所ベースアップ支援料



※ 新4号方面よりお越しの方は、交通ルールに従い、宇都宮駅東口方面へお進みください。

交通案内

■お車でのご来院

- 東北自動車道 宇都宮ICより約40分
- 東北自動車道 鹿沼ICより約30分
- 北関東自動車道
宇都宮上三川ICより約20分
- JR宇都宮駅東口より
鬼怒通りを進み約6分

■公共交通機関でのご来院

- LRT「JR宇都宮駅東口」
停留場より約5分
最寄停留場名「陽東3丁目(新宇都宮
リハビリテーション病院前)」より徒歩3分

お問い合わせ

住所 〒321-0941 栃木県宇都宮市東今泉2丁目5番31号

TEL 028-666-4880(代) FAX 028-666-4887

MAIL info@shin-utsunomiya.jp

※ 入院・面会等の詳細は、当院ホームページをご覧ください。

HP



Instagram



@SHINUTSUNOMIYA REHA

HOSPITAL GUIDE

病院案内



病院理念
手には技術
頭には知識
患者様には愛を



基本方針

安心安全な医療

学問的に、技術的に高い水準の安心・安全な医療を提供します。
そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

回復期 リハビリテーション医療

患者様・家族と医療情報を共有し、入院から在宅まで一貫した、
患者様のニーズに沿った安心できるチームによる
リハビリテーション医療を提供します。

地域医療

地域の医療・福祉施設と密な連携を図り、早期離床、寝たきり防止、
在宅復帰を目標に誰でも安心して利用できる明るい病院を目指します。

院長挨拶



新宇都宮リハビリテーション病院
院長 宇都宮 勝之

PROFILE

昭和63年 防衛医科大学校医学教育部医学科 卒業
(同年)陸上自衛隊入隊
平成18年 自衛隊仙台病院 外科部長 先任診療科部長
平成22年 自衛隊中央病院 外科部長
国家公務員共済組合連合会三宿病院
外科部長(兼務)
令和4年 第2宇都宮リハビリテーション病院 副院長
令和4年 新宇都宮リハビリテーション病院 副院長
令和6年 新宇都宮リハビリテーション病院 院長

資格

外科専門医 / 大腸肛門病専門医
消化器外科認定医
乳腺認定医 / 医学博士

新宇都宮リハビリテーション病院は、令和4年9月1日に240床の回復期リハビリテーション病院として現在の地に開院しました。

当院では、当グループの基本理念「手には技術、頭には知識、患者様には愛を」、基本方針「安心・安全な医療」「回復期リハビリテーション医療」「地域医療」を常に心がけ、ご利用いただく患者さんやご家族の皆様、この病院でリハビリを受けて良かったと思っただけよう職員一同一丸となって努力しております。

おかげさまで、地域の皆様、医療・介護に携わる皆様のご理解、ご協力を得て、1年365日休むことなくリハビリテーション医療を提供することができ、高い在宅復帰率を確保することができております。

今後も、「この病院でリハビリをするとよい。」「この病院でリハビリをしたい。」「この病院でリハビリをしてよかった。」と思っただけよう取り組んでまいりますので、引き続きご理解、ご支援のほど何とぞよろしくお願い申し上げます。

当院では、リハビリテーションの役割として、「障害を受けた者を彼のなしうる最大の

① 身体的 ② 精神的 ③ 社会的 ④ 職業的 ⑤ 経済的

な能力を有するまでに回復させることである」を目標に掲げ、各専門職と連携をとり、患者さまの早期在宅復帰をサポートしていきます。



当院は、(公財)日本医療機能評価機構の認定病院です。

回復期リハビリテーション病棟とは

脳血管疾患や骨折の手術などのため急性期病院で治療を受けて、病状が安定し始めた状態を回復期といいます。この回復期といわれる時期に集中的なリハビリテーションを行い、低下した能力を再び獲得するための治療を行う病棟を「回復期リハビリテーション病棟」と言います。

当院では、回復期対象の患者さんに対して、身体機能の回復や日常生活に必要な動作の改善を図り、寝たき

り防止と社会や家庭への復帰を目的としています。

患者さん一人ひとりに合わせてカスタマイズしたリハビリテーションプログラムを組み、そのプログラムに基づき、医師・歯科医師・薬剤師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・歯科衛生士・管理栄養士・社会福祉士・看護補助者・事務職員等が共同で集中的なリハビリテーションを提供いたします。

回復期リハビリテーション病棟の対象患者

	対象疾患	算定上限日数
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後、又は義肢装着訓練を要する状態	150日
	高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷および頭部外傷を含む多部位外傷	180日
2	多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折	90日
3	外科手術又は肺炎などの治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後	90日
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後	60日
5	股関節又は膝関節の置換術後の状態	90日
6	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	90日

当院における疾患別リハビリテーションと適応疾患

脳疾患



対象疾患

脳梗塞
脳出血・くも膜下出血
頭部外傷
急性脳症
脳腫瘍

脳卒中や神経の病気によって、麻痺などの運動機能の障害や感覚障害、記憶障害、嚥下障害など様々な症状に対して、理学療法、作業療法、言語聴覚療法などを組み合わせて行われるリハビリテーションです。

運動器疾患



対象疾患

大腿骨・骨盤・脊椎の骨折又は手術後
股関節又は膝関節の骨折又は手術後
二肢以上の多発骨折又は手術後
股関節又は膝関節の置換手術後
筋又は、靱帯損傷後

骨、関節、筋肉、神経などの運動器に障害を持つ患者さんに対して、運動療法や物理療法、装具療法などを実施し、症状の回復を図るリハビリテーションです。

廃用症候群



対象疾患

肺炎後
胸腹部の手術後
心臓・大血管の術後
急性胆嚢炎後
急性腎不全後

病気やけがなどを発症した後、あるいは手術後など、長期間の安静状態や運動量の減少により、体の機能が低下することを指し、低下してしまった機能の回復を目指していくリハビリテーションです。

新宇都宮リハビリテーション病院の特長

Features Of Shin-utsumiya Rehabilitation Hospital

栄養サポートチーム (NST: Nutrition Support Team)



NSTとは、患者さんに合わせ、最適の栄養管理を提供するために、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、言語聴覚士、歯科医師、歯科衛生士などで構成された医療チームのことです。

NSTは、病気や手術のために十分な食事が摂れない患者さんに、最も適切な栄養補給方法や、病気の回復や合併症の予防に有用な栄養管理方法の提案などを行っています。

摂食嚥下サポートチーム (SST: Swallowing Support Team)

脳血管障害(脳梗塞や脳出血)、頭頸部癌の術後、加齢による筋力低下などにより、経口で十分に栄養を摂ることが難しい、摂食嚥下(せつしょくえんげ)障害の患者さんに対応しています。

当院では豊富な知識と経験を持つ医師・歯科医師・看護師・言語聴覚士・管理栄養士がチームとなり、摂食嚥下障害の回復に積極的に取り組んでおり、経管栄養、胃瘻やCV(中心静脈栄養)で栄養を摂られている方もお引き受けしています。



嚥下造影検査 (VF)

造影剤を使用し、X線透視下にて嚥下状態を観察する検査

嚥下内視鏡検査 (VE)

鼻咽腔喉頭ファイバー(内視鏡)を挿入して、直視下で嚥下状態を観察する検査

褥瘡対策チーム (WCT: Wound Care Team)



褥瘡(じょくそう)とは、一般に言う「床ずれ」のことで、寝たきりなどによって体重で圧迫されている場所の血流が悪くなった結果、皮膚の一部が赤い色味をおびたり、傷ができてしまうことを言います。

当院では週に3回の入浴を実施し、患者さんの保清と褥瘡の早期発見に努めています。褥瘡ラウンドを週1回行い、適切な治療方針の指示により院内の褥瘡対策を支援しています。また、術後の創傷治療等にも、チームで対応しています。

歯科診療チーム (OCT: Oral Care Team)

口腔機能評価より作成した回復期等口腔機能管理計画をもとに、入院中の口腔機能管理について言語聴覚士、管理栄養士、歯科衛生士による合同カンファレンスを行い、内容の検討を行います。



ONE TEAM

思いやる心が回復の力になる

医師

チーム医療の要として、患者さんをサポートします。基礎疾患や合併症の医学的管理とリスク管理を行います。

看護師

患者さんの健康状態を観察し、日々リハビリテーションが安全に行えるよう支援しています。患者さんの思いを聴き寄り添いながら、看護師がしっかり関わっていく「リハビリテーション看護」を実施します。

看護補助者（ケアワーカー）

快適な入院生活が送れるよう生活環境の整理整頓や食事・排泄・入浴の援助を直接的に関わります。ご家族への介護・介助に関する知識や技術のサポートも行います。

管理栄養士

栄養バランスの整った食事を提供し、患者さんにとって美味しく元気になれる食事を提供できるよう、入院生活を支えています。退院時には栄養指導も行います。



理学療法士（PT）

運動能力の低下を改善し、起き上がる、立ち上がる、歩くといった基本動作と筋力回復を目指したリハビリテーションを行います。

作業療法士（OT）

日常生活全般にかかわる活動を支援します。身体の動きの練習からトイレ・食事・入浴などの生活動作、家事動作訓練のほか、職業復帰に必要な訓練や趣味活動のリハビリテーションを行います。

歯科医師

虫歯・歯周病・義歯による口腔機能の低下を改善することで、全身の栄養状態の改善、リハビリテーション訓練効果の向上をはかります。

歯科衛生士

口腔ケアを行い、お口の中を清潔にすることで、口腔機能を正常に保ち、患者さんのお口の健康、ひいては全身の健康増進に貢献します。

薬剤師

院内の処方箋の調剤、薬剤の供給、患者さんの服薬指導を行っています。薬のスペシャリストとしての患者さん一人ひとりに最良の医療を提供できるように努めます。

社会福祉士

ご家族と密に連携を取り、退院後の社会福祉制度や各種サービスの紹介、諸手続きのサポートなど在宅・社会復帰にむけて幅広く対応します。

言語聴覚士（ST）

生活するうえで欠かすことができない「コミュニケーション」「食ること」「考えること」が病気や事故などで難しくなった患者さん一人ひとりに合わせたリハビリテーションを行います。

事務

保険証の確認、会計など、患者さんの入退院に関する対応を行います。また、環境整備、院内の補修など、様々な業務を行います。



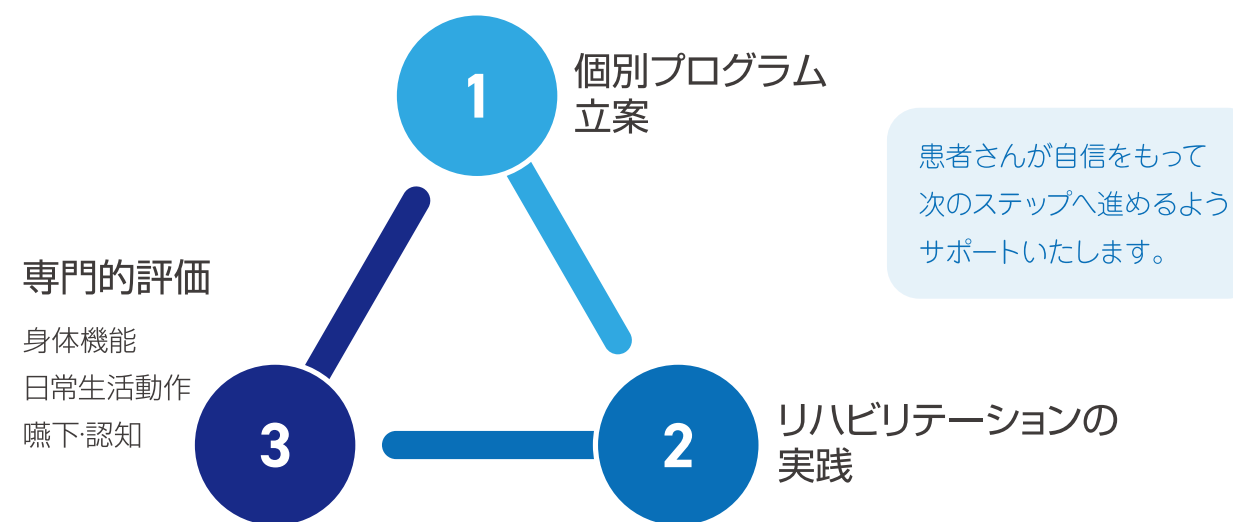
できるを増やし、生活につなげる

Rehabilitation

リハビリテーションのご案内

当院では、病棟内のシミュレーション室や野外環境など生活場面を想定したリハビリテーション環境を整えています。リハビリテーション室以外でも、実際の動作・生活に近い場面でも練習を通じて、退院後の生活を見据えた回復を支援します。

当院のリハビリテーションの流れ



リハビリテーションの具体例

理学療法



作業療法



言語聴覚療法

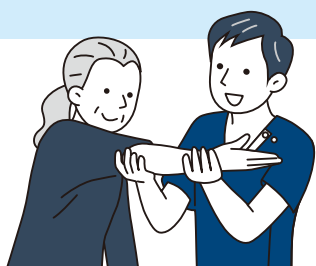




通所リハビリテーションのご案内

当院の通所リハビリテーションのポイント

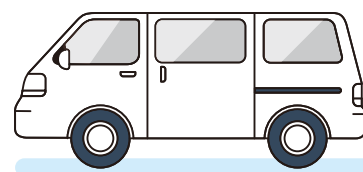
個別リハビリテーション



生活行為に対する
関わり



自宅～病院間の送迎



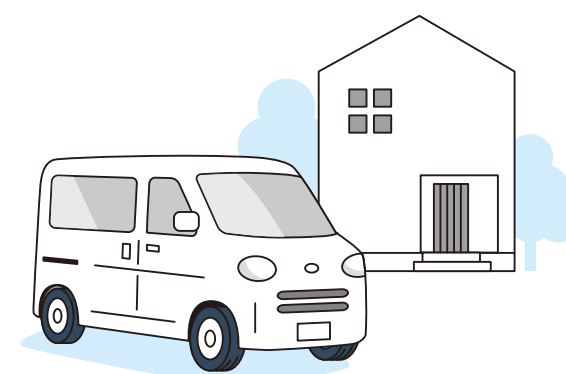
こんな方にぜひ

- 自宅での生活は可能だが、体力や動作に不安がある方
- 退院後も専門的なリハビリテーションを継続したい方
- 外出や社会参加に向けた体力づくりを行いたい方



訪問リハビリテーションのご案内

リハビリテーション専門職がご自宅を訪問。生活環境に即した実践的なリハビリテーションを行い、住み慣れた環境での生活継続を支援します。



提供内容

自宅内での動作訓練
転倒予防・安全確認
生活場面での実践的支援

こんな方にぜひ

- 外出が難しく、通所が困難な方
- 自宅環境に合わせた動作練習が必要な方
- ご家族と一緒に生活上の工夫を学びたい方

入院から退院まで 365日、リハビリテーションを提供しています。

入院

入院時は医師、看護師、リハビリスタッフが同席し、患者さんの診察を行います。
運動機能や認知機能障害や日常生活に必要な動作の評価を行います。
患者さん、ご家族にお話を伺いながら治療計画を立て、入院初日よりリハビリテーションを提供しています。



リハビリテーション開始

リハビリスタッフによる評価を行い、機能障害の改善と日常生活動作の向上を目指します。
一人ひとりの治療、リハビリテーションの計画を立てていきます。
自宅退院や社会復帰を目指したリハビリテーションを365日提供します。



定期面談

毎月評価を行い、主治医などから患者さんのリハビリテーションの進捗説明や、リハビリテーションプログラムの提案を行っています。
患者さん、ご家族のご意向も伺いながら今後の在宅復帰に関するイメージを具体的にし、必要に応じてプログラムの修正を行います。



退院前面談

在宅生活に向けて必要と考えられる介護保険サービスや福祉用具の準備を進めていきます。
在宅生活に必要なご家族への指導や環境調整を行い、退院日を決定していきます。



退院

退院後に医療、介護サービスを円滑に受けられるように、ケアマネジャーやその他関連機関に必要な情報提供や各種調整をして退院されていきます。



リハビリテーション1日の流れ



※上記は一例です。リハビリテーションの内容や時間は、患者さんの状態により異なります。

院内のご案内



リラックスして
お過ごしいただける
安全性機能性を重視したお部屋



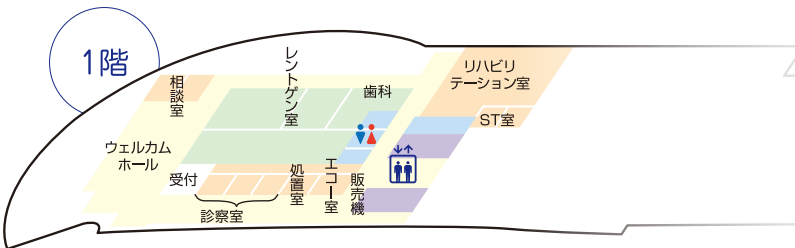
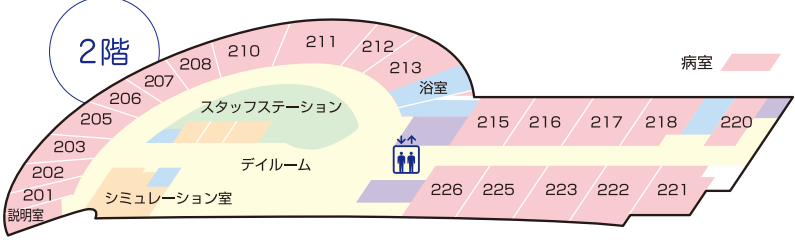
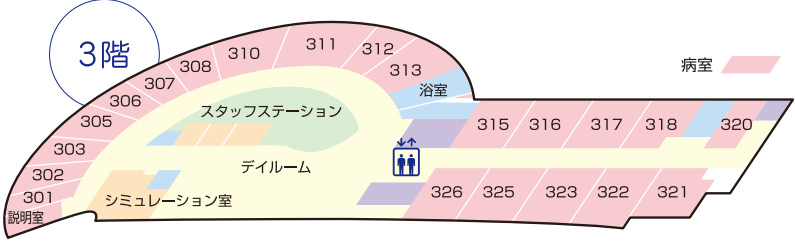
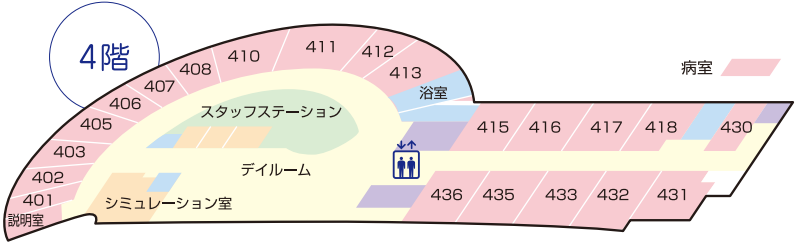
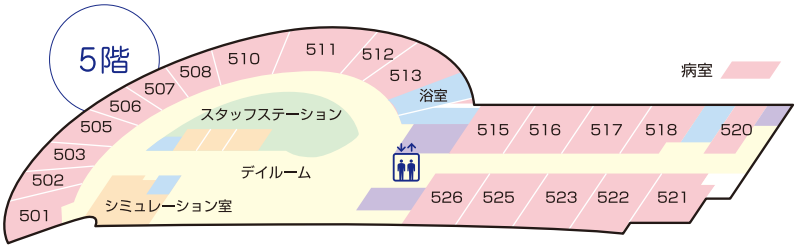
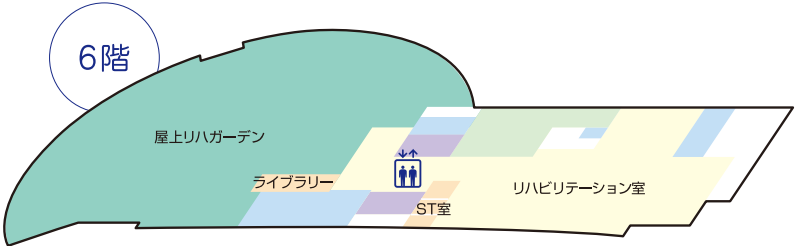
アメニティのご紹介

差額室料（お部屋代）については、下記のアメニティが付属しています。差額室料のかからないお部屋でも、個別にアメニティを契約することができます。入院時にご相談ください。

アメニティ

テレビ タオル リハビリ着
パジャマ くつ下 肌着

フロアマップ



院内のご案内

見晴らしのいいリハビリテーション室と、
季節を感じられる屋上リハーガーデンで
様々な内容のリハビリテーションが可能



最新のリハビリ機器を活用し、個々の状態に合わせた専門的リハビリテーションを実施しています。
当院では、病棟各階にシミュレーション室を配置し、日常生活を想定したリハビリテーションを行っています。
実際の生活動線に近い環境で練習することで、退院後の生活を具体的にイメージできます。

朝食



治療を支える、安心の病院食

当院の食事

3つの特徴

- 管理栄養士が栄養と味にこだわった食事
- 多職種で評価し、状態に応じた食事形態
- 季節を味わえる行事食

献立例

朝

- ご飯
- メバルの昆布風味焼き
- 茄子のポン酢和え
- Caふりかけ
- ジョア

昼

- 食パン
- オムレツのクリームソースかけ
- レタスとアスパラのサラダ
- パナナ
- かぶのスープ

夜

- ご飯
- 豚肉の生姜炒め
- かぼちゃのサラダ
- 厚揚げの煮物
- 味噌汁

昼食



夕食



入院についてのご案内

入院までの流れ

I 入院相談窓口

電話にて医療連携室へご連絡ください。
以下の必要書類をFAXでお送りいただくか、
直接ご持参ください。判定会を実施し、受け入れ可
否をご連絡いたします。

- 診療情報提供書
- 検査データ
- 入院申込書及びADL表

受付時間 9時～17時（月～金曜日）
9時～12時（土曜日）
TEL 028-666-7411 **FAX** 028-666-7430

※入院申込書はホームページより
ダウンロードできます。

[ホームページQRコード ▶](https://shin-utsunomiya.jp/)
<https://shin-utsunomiya.jp/>



I 入院当日のお手続きについて

下記書類等をご持参いただき、1階受付カウンター
へお越しください。

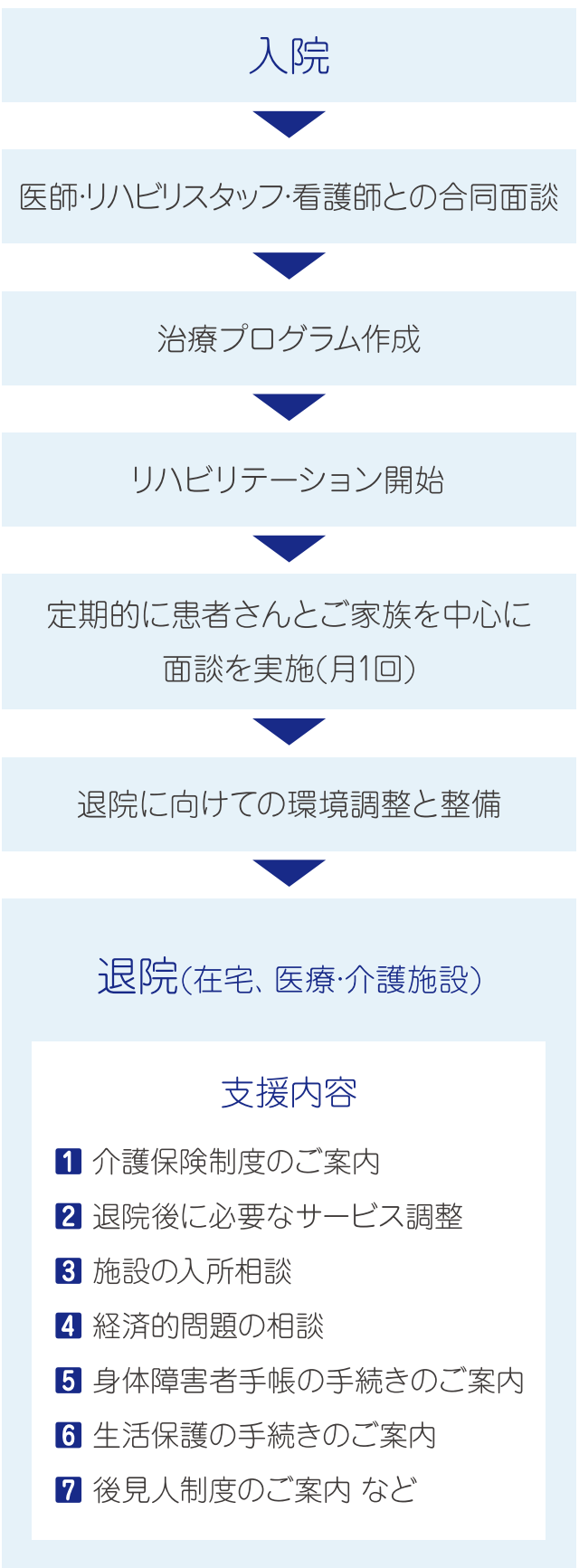
ご準備いただく書類等

- ☐ マイナ保険証もしくは資格確認書
- ☐ 各種公費医療証(お持ちの方)
- ☐ 身体障害者手帳(お持ちの方)
- ☐ 介護保険被保険者証(お持ちの方)
- ☐ お薬手帳
- ☐ 日用品(詳しくはホームページをご覧ください)

紹介元病院からの書類等

- ☐ 各種情報提供書等
 - ・診療情報提供書
 - ・画像・検査データ
 - ・看護サマリー
 - ・リハビリサマリー
 - ・連携パス など
- ☐ 退院処方薬 (持参された薬がなくなり次第、当院の薬に変更になります。)
- ☐ 退院証明書(転院の方)

入院から退院までの流れ



患者様の権利と義務

患者様の権利

1. 平等な治療を受ける権利があります。
患者様は、その社会的経済的地位、国籍、人種、宗教、年齢、病気の種類によって差別されずに、
平等な治療を受ける権利を持っています。
2. 治療を自己決定できる権利があります。
患者様は、医師による明確でわかりやすい言葉で十分な説明を受けた後で、治療を受ける権利、
あるいは治療を受けることを拒む権利があります。
3. 情報を知る権利があります。
患者様は、医師による診断・治療、または変わり得る治療方法・予後、今後予測される問題に関し
て知る権利、また、御自身の診療記録の開示を求める権利があります。
4. セカンドオピニオンを受ける権利とプライバシーが守られる権利があります。
患者様は、自分の診療内容に対して、医師と共同して選択する権利、他の医師からの意見・相談を
得る権利、いかなる場合であっても人格的に扱われ、患者様自身の診療に関する全てのプライバシー
に関して、万全の配慮を受ける権利を持っています。
5. 医療費等について相談する権利があります。
患者様は、十分な情報を得て、利用可能な財政的支援について相談する権利を持っています。
6. 良質な医療を速やかに受ける権利があります。
患者様は、効果的医療行為を速やかに行われることを要求する権利、科学的に支持、検討された
質の高い医療を受ける権利を持っています。

患者様の義務

1. ご自身の健康に関する情報を医療従事者に伝える義務があります。
病状・病歴を含む健康に関する情報や診療中の変化等、できるだけ正確にお伝え下さい。
2. 病気や治療を理解するよう努力する義務があります。
病気や治療に関する方針や説明について、納得できるまで質問する等して、自らの病気や治療に
ついて理解するよう努力し、明確な意思表示をして下さい。
3. 医療には医学、社会、経済、倫理等の様々な要因により限界があることを認識する義務があります。
4. 自ら選んだ治療方針に沿って積極的に治療に参加する義務があります。
より良い医療を受けられるよう医療従事者と協力し、積極的に医療に参加して下さい。
5. 院内の規則や公共の場のルールを守り、他者の迷惑にならないよう行動する義務があります。
全ての患者様が等しく上記の権利を行使するためには、病院内や公共の場の規則を守り、職員や
他の患者様に迷惑をかけないよう心がけて下さい。
6. 医療費の支払い請求を受けた時は速やかに支払う義務があります。
医療費は遅滞なくお支払い下さい。高額な医療費の助成制度等、お支払いについてのご相談も
お受け致します。遠慮なくお申し出下さい。

栃木エリア3病院の 連携体制

医療機関から入院相談を受けた患者さんを早期にご案内し、回復期リハビリテーションに繋がれるように、新上三川病院・宇都宮リハビリテーション病院との連携体制を整えています。患者さん・ご家族のニーズに添った入院調整を栃木3病院一丸となって取り組んでいます。入院をご希望される方は医療連携室までお問い合わせ下さい。

回復期240床



新宇都宮リハビリテーション病院

〒321-0941

栃木県宇都宮市東今泉2丁目5番31号

TEL：028-666-4880（代表）

TEL：028-666-7411（医療連携室直通）

ホームページ



Instagram



@SHINJYUTSUBA.REHA

急性期・回復期209床



新上三川病院

〒329-0611

栃木県河内郡上三川町

上三川2360番地

TEL：0285-56-7111（代表）

TEL：0285-56-7020（患者支援センター直通）

ホームページ



回復期96床



宇都宮
リハビリテーション病院

〒321-0982

栃木県宇都宮市御幸ヶ原町43-2

TEL：028-662-6789（代表）

TEL：028-689-6878（地域医療連携室直通）

ホームページ



関連施設一覧



1 社会医療法人財団 池友会
福岡和白病院



2 社会医療法人財団 池友会
新小文字病院



8 一般社団法人 巨樹の会
下関リハビリテーション病院



9 社会医療法人財団 池友会
香椎丘リハビリテーション病院



15 社会医療法人社団 東京巨樹の会
赤羽リハビリテーション病院



16 医療法人社団 銀緑会
みどり野リハビリテーション病院



22 社会医療法人社団 埼玉巨樹の会
新久喜総合病院



23 社会医療法人社団 東京巨樹の会
江東リハビリテーション病院



29 学校法人 巨樹の会
下関看護リハビリテーション学校



30 学校法人 巨樹の会
小倉リハビリテーション学院



3 社会医療法人財団 池友会
福岡新水巻病院



4 社会医療法人財団 池友会
新行橋病院



5 一般社団法人 巨樹の会
新武雄病院



6 社会医療法人財団 池友会
福岡和白PET画像診断クリニック



7 社会医療法人財団 池友会
福岡和白総合健診クリニック



10 社会医療法人社団 埼玉巨樹の会
所沢美原総合病院



11 社会医療法人社団 埼玉巨樹の会
明生リハビリテーション病院



12 一般社団法人 巨樹の会
宇都宮リハビリテーション病院



13 社会医療法人社団 東京巨樹の会
小金井リハビリテーション病院



14 社会医療法人社団 東京巨樹の会
蒲田リハビリテーション病院



17 一般社団法人 巨樹の会
八千代リハビリテーション病院



18 一般社団法人 巨樹の会
松戸リハビリテーション病院



19 一般社団法人 巨樹の会
千葉みなとリハビリテーション病院



20 社会医療法人社団 東京巨樹の会
小田原リハビリテーション病院



21 社会医療法人社団 東京巨樹の会
五反田リハビリテーション病院



24 社会医療法人社団 東京巨樹の会
東京品川病院



25 一般社団法人 巨樹の会
新上三川病院



26 社会医療法人財団 池友会
青森リハビリテーション病院



27 医療法人社団 銀緑会
よしき銀座クリニック



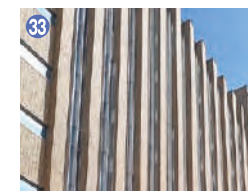
28 学校法人 巨樹の会
八千代リハビリテーション学院



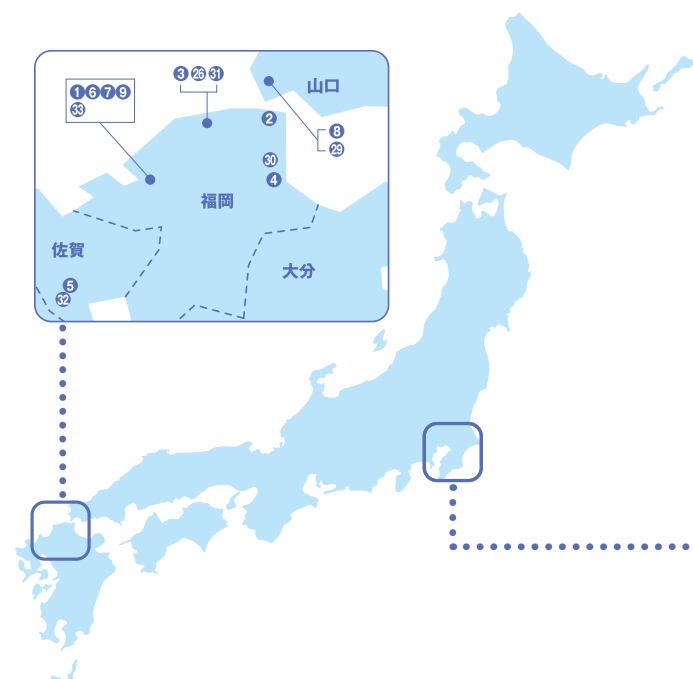
31 学校法人 巨樹の会
福岡水巻看護専門学校



32 学校法人 巨樹の会
武雄看護リハビリテーション学校



33 学校法人 巨樹の会
令和健康科学大学



一般社団法人 巨樹の会
新宇都宮リハビリテーション病院



昭和49年、19床でスタートした下関カマチ医院から50数年。カマチグループは病院25、診療所3、大学1、専門学校5を運営する医療法人として成長してきました。回復期リハビリテーション医療にも層力を入れ、地域医療にとどまらず「大和民族のための医療」を目指し、最善の努力を続けます。



カマチグループ
創設者・CEO 蒲池 眞澄

昭和15年、福岡県八女郡黒木町生まれ。蒲池家は江戸中期から代々続く医師で、蒲池眞澄が9代目。九州大学医学部卒。虎の門病院、九州大学大学院医学研究科、下関市立中央病院、福岡大学医学部を経て、昭和49年に下関市で救急指定の下関カマチ病院を開院し独立。